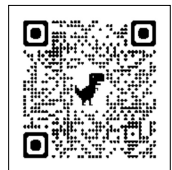
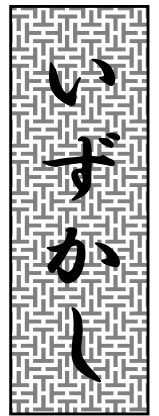


「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり



R7年6月4日
文責：校長

元気な体と元気な心

6月に入り、一学期が折り返しました。
先週末は、八代神社妙見宮で氷室祭が開催され、九州北部もいよいよこれから雨の季節を迎えます。天気の変で、子供たちを早めに下校させなければならなくなる場合も想定し、6日（金）に風水害の避難訓練を行います。今回の訓練は、地区ごとに集まり一斉下校を行います。今後は、車によるお迎えを想定した訓練も計画中です。

29日（火）に体力・運動能力テストを行いました。昨年度、植柳小学校の子供たちの課題となつた種目は全学年で男女とも握力、上体起こしでした。特に50m走とソフトボール投げは、全ての学年の男子が県基準値に届かない結果でした。

しかし、長座体前屈、立ち幅跳びは男女ほぼ全ての学年で県基準値を上回っています。今年度は、課題の種目を克服する動きを体育や日常活動に取り入れて体力と運動能力をバランスよく育てたいと思います。今回の結果については、しっかりと分析し、植柳小の子どもたちの体力面での課題については、体育の授業を通して改善に努めています。



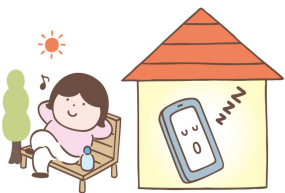
きます。

令和6年度の「スポーツ庁『全国体力・運動能力、運動習慣等調査』によると、小中学生の体力低下の背景要因として、

生活習慣の変化を指摘しています。具体的には、ゲームやスマートフォンなどの利用時間を示す「スクリーンタイム」が増加しており、特に小・中学生ともに長時間化しているそうです。

特に、男子はスクリーンタイムが一日5時間以上の小学生が十八・五％、女子は十四・五％で男女とも年々増加し続けています。このスクリーンタイムが長いほど体力合計点数が低いという傾向もみられたそうです。本校児童の体力の実態が、スクリーンタイムとの関連性があるかどうかについては分かりませんが、運動時間が大きく減少していることは確かです。

また、スマホ所持率の低年齢化が進んでおり、心の健康を害する危険性も高くなっています。子供たちがSNSやLINE、動画視聴をはじめテレビやゲームなど様々なメディアに接する時間や内容を私たちが大人がしっかりと把握し、ルールを決めてしっかりと守らせることが、子供たちの心と体の健やかに成長につながると思います。



田植え体験記②

先週、稲の種子の消毒を行った5年生の子供たちが20日（月）に学校の田んぼの田おこしをしました。

先日まで手つかずで荒れていた畑でしたが、学校の環境整備をしてくださった大木先生が事前に田を耕してくださいました。この日も塚田さんやJAの方々に指導していただき、子供たちはスコップで畑の土を掘り起こしました。一度、耕してあるとはいえ硬い土を掘り起こす作業に、子供たちはスコップを握り悪戦苦闘していました。ただ、子供たちのがんばりのおかげで、

カニを捕まえたよ！

最近、低学年の子供たちが校舎前の溝や水たまりでカニや生き物を探している様子をよく見かけます。休み時間になると校長室の近くも大賑わいです。みんな一生懸命生き物を探しています。先日は2年生の子供たちが「大きなカニをつかまえました！」と見せにきてくれました。

本校は校庭をはじめ色々な所に様々な生き物がいます。これは子供たちが学校生活を送る上でとてもいい環境だと思います。

栽柳園やいずかしの森、池などにある様々な自然に触れて、たくさんの思い出をつくってほ



げで土の中の石も取り除けて、土も柔らかくなりました。この後、水が張られ、代掻き、田植へと作業が進んでいきます。5年生の皆さん、がんばってください



